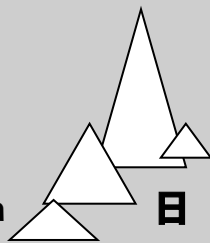


N_{outh} E_{ast}

W_{est} S_{outh}

S_{outh}



日本各地の話題

文責 小野盛光

大雪で大会中止

相次いだ関東

関東地方を中心に2月8日に平野部でも30cmの大雪が降り、この影響で大会中止、延期が相次いだ。2月14日の青梅で予定していた関東学連定例戦は中止。2月22日の神奈川県の大雄山でのサン・スーシ大会は1週間前に50cmの残雪があり、早々と中止を決めた。この大会は5月11日に代替開催される。また、第64回上尾OLC大会は埼玉県比企郡の吉見総合運動公園の1週間前グラウンドのぬかるみがひどく中止を決定、代わりは5月3日を予定。

民家のなかの迷路

昇竜杯0大会

三河オリエンテーリングクラブが恒例の昇竜杯オリエンテーリング大会を1月26日三河湾に浮かぶ愛知県西尾市の佐久島で開催した。前夜の雨も上が

年間で最も寒い大寒の時期にしてはしのぎやすく多くの参加者は屋外に陣を敷いた。佐久島は周囲10km、最も高いところで標高35mとフラットな島。遊歩道も結構整備されており、高速コース。多くの参加者がレースの印象として口にされたのは、中間部の民家のなかの複雑な小路の通り抜け。スプリントオリエンテーリング並みの悩ましきだった。

距離4.7kmに対し、登り95mのフラットなコースで優勝は30分30秒と高速レースが展開された。R1では松澤俊行さんが貫録の優勝で昇竜杯を手にした。2位に稲森剛さん(東海高)、3位に三浦一将さん(東海高)が入り、若手の伸長が見られた。R3はR1,2に比べると距離が約200m短い、谷川友太さん(ルーパー)と松下睦生さん(外部OLC)が28分台を出した。女子の昇竜杯は若手を抑えて三井由美さんが手にした。

運営者としては船の運航で、数少ない船をやりくりし、船を運営する西尾市とたびたび調整したが、実際の運航

者にご迷惑をかけてしまったことを反省するとともに参加者の皆さんにお詫びいたします。

しかし、今までの昇竜杯に対して1.5倍もの参加をいただき感謝いたします。島での開催ということで大変高い関心を持っていただいているということは参加者募集段階でも感じていましたが、こんなに伸びるとは予想していませんでした。



優勝した松澤俊行さんを中心に右にR1 2位の稲森さん、左に3位の三浦さん

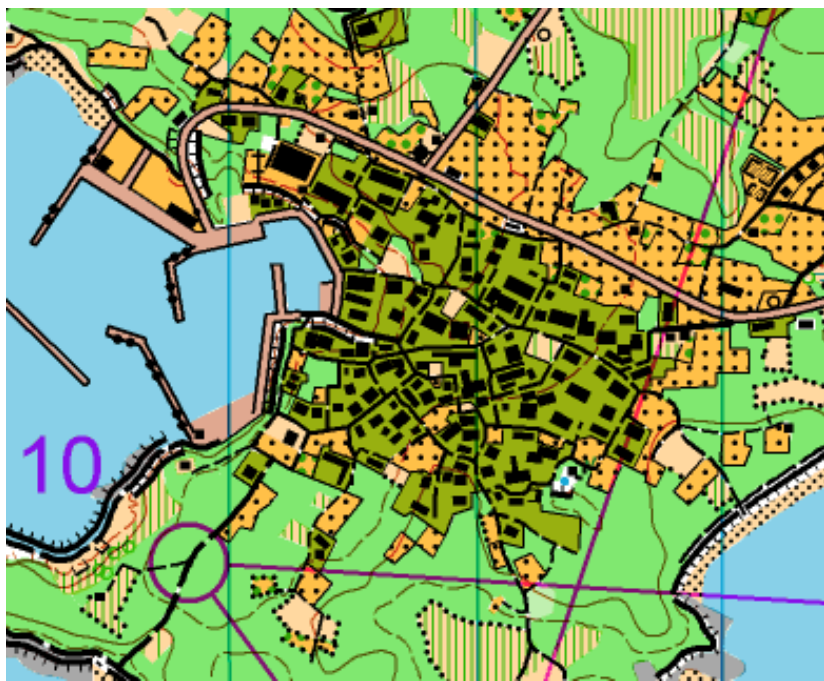
愛知のてっぺんで

全日本に向けて4/13

今年の全日本大会は4月27日に長野県の菅平高原で開催される。菅平高原はこれまで数多くの、しかも大規模の大会が開催されており、トレインの様子は多くのオリエンティアがイメージできていると思います。

標高1200m以上でスキー場、牧場などのオープンが広がる菅平高原に類似する地域でのトレーニングを三河OLCが企画しました。4月13日(日)に愛知県の茶臼山高原で開催します。

詳しくは三河OLCのホームページをご覧ください。



参加者に印象的だった民家エリア

り、やや肌寒い曇りの天候であったが、が事前調整結果と食い違うなど、参加